想定される津波の影響及び有効な避難対応 ～「津波対策の方向性の検討に係る調査研究」より～

地区ごとに想定される津波の影響と有効な避難対応について、下記のとおりまとめました。
居住地への浸水が想定される沿岸地域の町内会の皆さんは、指定緊急避難場所等一覧（41 ページ参照）や「地域別の避難行動計画」（別途、対象地域に配布）を確認しましょう。

地区		想定される津波の影響		有効な避難対応
西部	名立区 谷浜区	住宅地の背後には、標高の高い崖地が隣接しているため、浸水範囲は限定的だが、居住地が大きな影響を受ける。	【津波到達時間】 約5分～10分	・津波到達時間が短いことから、速やかに避難行動を開始する。 ・住宅内での垂直避難ではなく、住宅地背後の標高の高い場所へ避難する。
	直江津区 有田区	砂丘列がないため、海岸から直接居住地に浸水する。関川の河川遡上の影響を受ける。	【津波到達時間】 約10分	・速やかに浸水想定区域外（内陸側）へ避難する。 ・時間的猶予がない場合は、最寄りの高く頑丈な建物に避難する。
東部	八千浦区 大潟区 柿崎区	砂丘列の存在により、直接居住地に浸水する地域は少ない。 一部地域では、河川遡上の影響を受ける。	【津波到達時間】 約10分	・河口付近や河川遡上の影響を受ける住宅では、川から離れて浸水想定区域外へ避難する。 ・または、住宅内の２階以上へ垂直避難をする。
	頸城区	砂丘列の存在により、直接居住地に浸水する地域は少ない。	【津波到達時間】 約30分	・津波到達まで一定の時間があるため、落ち着いて浸水想定区域外へ避難する。 ・または、住宅内の２階以上へ垂直避難をする。

※自力での避難が難しい避難行動要支援者に限定し、「車を使用した避難も可能」としています。

地域別の避難行動計画

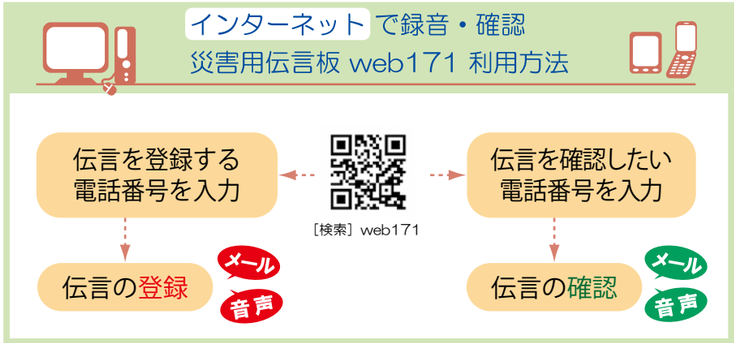
「地域別の避難行動計画」は、浸水想定区域、浸水深及び津波到達時間を踏まえ、沿岸地域の町内会の皆さんと検討した避難方法や避難場所、避難経路などを定めたものです。これを参考に、いざというときに速やかに避難できるようあらかじめ避難場所などを確認しておきましょう。

災害用伝言サービス

大災害発生時は、被災地への通信が増加し、電話がつながりにくい状況が数日続くことがあります。
このような状況下では、「（音声を残す）災害用伝言ダイヤル１７１」や「（文字を残す）災害用伝言版」が災害用伝言サービスとして開設されます。
このサービスを利用することにより、家族や知人の安否を確認することができます。

災害用伝言ダイヤル「１７１」・災害用伝言版「web１７１」





「１７１」体験利用提供日
- ●毎月１日・15 日
- ●１月１日～３日（正月三が日）
- ●１月 15 日～21 日（防災とボランティア週間）
- ●８月 30 日～９月５日（防災週間）

※詳しくは「NTT 東日本災害伝言ダイヤルホームページ」をご覧ください。

各電話会社（事業者、キャリア）が提供している電子掲示板（ＢＢＳ）です。詳しくはホームページをご覧ください。

NTTドコモ	au	ソフトバンク
［検索］災害用掲示板 ドコモ	［検索］災害用掲示板 au	［検索］災害用掲示板 ソフトバンク

上越市安全メール

市では、防災や防犯、交通安全などの地域安全情報を広く共有するため、安全メールの配信を行っています。安全メールの配信を希望する人は、随時募集していますので、登録手続きを行ってください。
SNS（LINE 及び X(旧Twitter)など）でも安全メールの内容を発信しています。

安全メール・ＳＮＳの登録方法

電子メール anzen.joetsu-city@raiden.ktaiwork.jp

ＳＮＳ 安全メールと同じ内容を配信しています。

上記アドレス、または右記の二次元バーコードからアクセスして空メールを送信してください。案内のメールが届いたら、メール本文に記載された URL からアクセスし、表示された登録画面の指示に従い登録してください。

空メール送信用二次元バーコード
LINE「上越市」
X（旧Twitter）「上越市」
Facebook「上越市安全安心情報」